

事業名 (箇所名)	美保飛行場滑走路延長事業			担当課 (担当課長名)	中国地方整備局港湾空港部港湾空港整備・補償課 (課長:服部 俊朗) 大阪航空局空港部空港企画調整課 (課長:坂尾 義美)			事業 主体	中国地方整備局 大阪航空局		
実施箇所	鳥取県米子市および境港市										
該当基準	事業完了後5年が経過した事業										
主な事業の諸元	滑走路延伸(2,000mから2,500m)										
事業期間	事業採択	平成13年度	完了	平成21年度							
総事業費(億円)	採択時	115億円		完了時	83億円						
目的・必要性	<p><解決すべき課題・背景> 羽田発着枠の制限の下、将来旅客需要の増大に対応すべく、機材の大型化(B777)による効率的な旅客輸送、冬期積雪時における欠航を抑制することを目的に滑走路の延長を行った。</p> <p><達成すべき目標> ・大型機材が就航できることによる効率的な航空輸送の実現 ・積雪時の着陸における必要滑走路長が確保されることによる欠航防止</p> <p><政策体系上の位置付け> ・政策目標:国際競争力、観光交流、広域・地域間連携等の確保・強化 ・施策目標:航空交通ネットワークを強化する</p>										
費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>○事業費:新規評価時:115億円→事業完了時:83億円(JR境線の付替工法を見直したことによる縮減)</p> <p>○工期:新規評価時:H13~20年度→事業完了時:H13~21年度(着工前の調整に時間を要したため)</p> <p>○需要:新規評価時:55.0万人(平成25年度)→事業完了時:54.4万人(平成25年度)※東京路線</p>										
事業全体の投資効率性	基準年度		平成 26 年度								
	B:総便益(億円)	146	C:総費用(億円)	106	全体B/C	1.4	B-C	40	EIRR (%)	6.1	
事業の効果の発現状況	<p>○羽田便は、背後圏の観光が好調であること等を背景に、今後も旅客需要の増大が見込まれる。本事業により大型機材の導入が可能となったことから、その需要の増大に応えられる。</p> <p>○国際チャーター便について、大型機材の就航実績がある。</p> <p>○積雪時における必要な制動距離が確保されたことにより、欠航が抑制され冬期の安定運航が確保された。</p>										
事業実施による環境の変化	特になし										
社会経済情勢等の変化	<p>美保飛行場には、平成26年11月末現在、国内線3路線(羽田5便/日・那覇1便/日・神戸2便/日)、国際線1路線(ソウル3便/週)が就航している。旅客数は、東日本大震災があった平成23年度は、全国的に観光の自粛ムードがあり、43万人(羽田便40万人)であったが、空港背後圏において「出雲大社の平成大遷宮」や妖怪をテーマとした「水木しげるロード」などの観光が好調であり、旅客数が著しく増加し、平成25年度は、64万人(羽田便54万人)となった。また、羽田便の年間搭乗率は、73.3%となっており、近傍の出雲空港の羽田便も77.4%と高い搭乗率であった。</p>										
今後の事後評価の必要性	東京(羽田)路線の需要は、順調に増加しており、大型機材の就航が見込まれる。また、積雪時における欠航も抑制されていることや大型機による国際チャーター便の就航も実現していることから、今後の事後評価の必要はない。										
改善措置の必要性	滑走路延長により、大型機材の導入が可能となっており、現状でも混雑度の高い多客期を中心に大型機材の運用を行うことで航空旅客需要に応えることが可能となっている。また、予測した航空旅客需要を確実なものにするため、今後も地元自治体で取り組まれている観光振興等のソフトの施策を進めていることから、今後の改善措置の必要はない。										
同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直し必要性	特になし										
対応方針	対応なし										
対応方針理由	事業効果の発現が確認されたため										
その他	特になし										

位置図



概要図



美保飛行場滑走路延長事業
費用便益の概要

便益

項目	区分	原単位		単位当りの便益		便益(代表年)	
		単位	備考	単位	単位		
利用者便益	旅客の移動時間・費用削減 (オーバーフロー便益・重量規制緩和による便益)	3,303	円/時	計測方法については、「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル」を参照。	8,726	円/人	11.0 億円/年
供給者便益	空港管理者の収益増加 (着陸料等収入・航空機燃料税等収入)	—	—	—	—	—	0.9 億円/年

* 便益(代表年)については最大便益を得る年度(平成34年度)の数値(割引前)を表示している。

費用

費用項目	建設費、維持補修費、改良・再投資費
事業の対象施設	滑走路、誘導路、エプロン、照明施設、無線施設 等

美保飛行場滑走路延長事業

費用便益分析シート（割引前）

(単位:億円)

年度	施設 供用 期間	割引前					総便益 (B)	純便益 (B-C)
		事業費	再投資費	総費用 (C)	利用者 便益	供給者 便益		
2001	H13	1.64		1.64				-1.64
2002	H14	1.52		1.52				-1.52
2003	H15	0.56		0.56				-0.56
2004	H16	0.79		0.79				-0.79
2005	H17	6.01		6.01				-6.01
2006	H18	17.24		17.24				-17.24
2007	H19	22.50		22.50				-22.50
2008	H20	7.22		7.22				-7.22
2009	H21	20.54		20.54				-20.54
2010	H22	1.09		1.09				-1.12
2011	H23							-0.03
2012	H24				0.10			0.08
2013	H25				0.10			0.08
2014	H26				0.10			0.08
2015	H27				10.82	0.87	11.69	11.69
2016	H28				10.85	0.87	11.73	11.73
2017	H29				10.89	0.87	11.76	11.76
2018	H30				10.92	0.88	11.79	11.79
2019	H31				10.95	0.88	11.83	11.83
2020	H32				10.98	0.88	11.86	11.86
2021	H33				11.01	0.88	11.89	11.89
2022	H34				11.04	0.88	11.92	11.78
2023	H35		0.14	0.14	10.30	0.85	11.15	11.00
2024	H36		0.14	0.14	9.58	0.81	10.39	10.39
2025	H37				8.86	0.78	9.64	9.64
2026	H38				8.16	0.74	8.90	8.90
2027	H39				7.47	0.71	8.17	8.17
2028	H40				6.79	0.51	7.29	7.29
2029	H41				6.11	0.46	6.57	6.57
2030	H42				5.57	0.54	6.11	6.11
2031	H43				5.06	0.48	5.54	5.54
2032	H44				4.67	0.39	5.06	5.06
2033	H45				4.35	0.37	4.72	4.72
2034	H46				4.04	0.36	4.39	4.39
2035	H47				3.73	0.34	4.07	4.07
2036	H48				3.42	0.33	3.75	3.75
2037	H49		2.17	2.17	3.12	0.24	3.36	1.19
2038	H50		0.14	0.14	2.83	0.22	3.05	2.91
2039	H51		0.14	0.14	2.54	0.21	2.75	2.60
2040	H52		1.65	1.65	2.26	0.18	2.44	0.79
2041	H53				2.04	0.17	2.21	2.21
2042	H54				1.82	0.16	1.98	1.98
2043	H55				1.63	0.13	1.76	1.76
2044	H56				1.49	0.12	1.61	1.61
2045	H57				1.34	0.11	1.46	1.46
2046	H58				1.20	0.11	1.31	1.31
2047	H59				1.06	0.10	1.16	1.16
2048	H60				0.93	0.09	1.02	1.02
2049	H61				0.79	0.09	0.88	0.88
2050	H62				0.66	0.08	0.74	0.74
2051	H63				0.53	0.08	0.60	0.60
2052	H64				0.42	0.05	0.47	0.47
2053	H65				0.40	0.03	0.43	0.43
2054	H66				0.40	0.03	0.43	0.43
2055	H67				0.40	0.03	0.43	0.43
2056	H68				0.40	0.03	0.43	0.43
2057	H69				0.40	0.03	0.43	0.43
2058	H70				0.40	0.03	0.43	0.43
合計	-	79.12	4.39	83.51	202.90	16.89	219.79	136.28

費用便益分析シート（割引後）

EIRR= 6.1% B-C= 39.6 億円
B/C= 1.4

(単位:億円)

年度	施設 供用 期間	社会的 割引率	割引後					総便益 (B)	純便益 (B-C)	
			事業費	再投資費	総費用 (C)	利用者 便益	供給者 便益			残存 価値
2001	H13		2.73		2.73				-2.73	
2002	H14		2.44		2.44				-2.44	
2003	H15		0.86		0.86				-0.86	
2004	H16		1.17		1.17				-1.17	
2005	H17		8.55		8.55				-8.55	
2006	H18		23.59		23.59				-23.59	
2007	H19		29.61		29.61				-29.61	
2008	H20		9.14		9.14				-9.14	
2009	H21		24.98		24.98				-24.98	
2010	H22		1.28		1.28				-1.31	
2011	H23								-0.03	
2012	H24					0.11			0.09	
2013	H25					0.10			0.09	
2014	H26					0.10			0.08	
2015	H27		0.96			10.41	0.84	11.24	11.24	
2016	H28		0.92			10.04	0.81	10.84	10.84	
2017	H29		0.89			9.68	0.78	10.46	10.46	
2018	H30		0.85			9.33	0.75	10.08	10.08	
2019	H31		0.82			9.00	0.72	9.72	9.72	
2020	H32		0.79			8.68	0.69	9.37	9.37	
2021	H33		0.76			8.37	0.67	9.03	9.03	
2022	H34		0.73		0.10	8.07	0.64	8.71	8.61	
2023	H35		0.70		0.10	7.24	0.59	7.83	7.73	
2024	H36		0.68			6.47	0.55	7.02	7.02	
2025	H37		0.65			5.76	0.50	6.26	6.26	
2026	H38		0.62			5.10	0.46	5.56	5.56	
2027	H39		0.60			4.48	0.42	4.91	4.91	
2028	H40		0.58			3.92	0.29	4.21	4.21	
2029	H41		0.56			3.39	0.25	3.65	3.65	
2030	H42		0.53			2.97	0.29	3.26	3.26	
2031	H43		0.51			2.60	0.25	2.84	2.84	
2032	H44		0.49			2.31	0.19	2.50	2.50	
2033	H45		0.47			2.07	0.18	2.24	2.24	
2034	H46		0.46			1.84	0.16	2.01	2.01	
2035	H47		0.44			1.64	0.15	1.79	1.79	
2036	H48		0.42			1.44	0.14	1.58	1.58	
2037	H49		0.41		0.88	1.27	0.10	1.36	0.48	
2038	H50		0.39		0.06	1.10	0.09	1.19	1.14	
2039	H51		0.38		0.05	0.95	0.08	1.03	0.98	
2040	H52		0.36		0.59	0.82	0.06	0.88	0.29	
2041	H53		0.35			0.71	0.06	0.77	0.77	
2042	H54		0.33			0.61	0.05	0.66	0.66	
2043	H55		0.32			0.52	0.04	0.56	0.56	
2044	H56		0.31			0.46	0.04	0.50	0.50	
2045	H57		0.30			0.40	0.03	0.43	0.43	
2046	H58		0.29			0.34	0.03	0.37	0.37	
2047	H59		0.27			0.29	0.03	0.32	0.32	
2048	H60		0.26			0.24	0.02	0.27	0.27	
2049	H61		0.25			0.20	0.02	0.22	0.22	
2050	H62		0.24			0.16	0.02	0.18	0.18	
2051	H63		0.23			0.12	0.02	0.14	0.14	
2052	H64		0.23			0.09	0.01	0.11	0.11	
2053	H65		0.22			0.09	0.01	0.09	0.09	
2054	H66		0.21			0.08	0.01	0.09	0.09	
2055	H67		0.20			0.08	0.01	0.09	0.09	
2056	H68		0.19			0.08	0.01	0.08	0.08	
2057	H69		0.19			0.07	0.01	0.08	0.08	
2058	H70		0.18			0.07	0.01	0.98	1.05	
合計	-	-	104.36	1.79	106.15	133.85	10.96	0.98	145.79	39.64